

苦痛が少ない上部消化管内視鏡検査を目指して

上部内視鏡検査(胃カメラ)では、程度の差こそあれ、嘔吐反射や息苦しさ・のどの不快感・痛みといった苦痛が生じます。それだから、苦しくない検査は患者と対象者の要求や望みであり、内視鏡医の目標でもあります。苦痛を減らす方法として、①内視鏡技術の向上のための経験と学習、②検査環境の整備(内視鏡機器、検査体制など)、③鎮静が重要です。

この中で鎮静が時代の変化とともに普及してきました。より良い医療を求める国民や患者の声が強まるとともに、楽な検査を掲げる医療機関の増加が相乗作用を呼びました。私の経験上、どんなに技術を磨いたとしても鎮静なしの検査には一定の苦しさを伴うので、鎮静を勧めることが多くなりました。通常鎮静剤としてミダゾラムとプロポフォールを使用し、希望者・必要者には3日間の禁酒を要請しています。

内視鏡検査の基本は、見落としが少ない体系的観察と鮮明で良い写真の撮影です。この原点を踏まえた上で今後も苦痛を減らすための努力が必要です。今回の講演では、鎮静に関わる工夫と実際、上部内視鏡に関係する画像を提示します。

講師：岡山中央病院

消化器内科 医師 森山 友章

日時：2026年 5月 28日(木)

18時30分～19時30分

方法：オンライン(Zoom) ※zoomのみの開催となります

対象：医師・医療従事者

備考：岡山県医師会生涯教育講座申請中 ※ 9：医療情報

問い合わせ先：岡山中央病院 地域連携室

Tel (086) 252-5002 Fax (086) 252-3929

Eメール：khg-renkei@kohjin.ne.jp

【お申込み方法】

勉強会参加ご希望の方は、下記の必要事項をご記入の上、岡山中央病院 地域連携室までメール、またはQRコードでお申し込みください。 khg-renkei@kohjin.ne.jp

記載項目：1. 施設名 2. 連絡先 3. 氏名 4. フリガナ

5. 職種 6. 医籍登録番号(医師のみ) 7. メールアドレス

メールでお申し込みの方には、

後日、Zoom参加のURLをメールにて返信させていただきます。



※申込締切：5月27日(水)